

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公開番号】特開2019-150676(P2019-150676A)

【公開日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-037

【出願番号】特願2019-113336(P2019-113336)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月24日(2019.9.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者が操作する操作手段と、第1位置と、その第1位置とは異なる第2位置との間を動作可能とされる動作手段と、を備える遊技機において、

前記動作手段の動作態様を変化させ、操作に対する前記操作手段の反応の態様を切り替えるための切替手段を備え、

前記動作手段は、

前記操作手段と同期動作させるための同期動作手段と、

前記操作手段と非同期で動作させるための非同期動作手段と、を備え、

前記切替手段は、前記反応の態様の切替を、前記操作手段の非操作時に前記操作手段の配置が操作可能位置で維持された状態で実行可能に構成されることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機において、ボタンを復帰させる付勢バネの弾性力を予め変化させることにより、ボタンを押した遊技者が感じる反発力を変化させ、それを演出に利用する遊技機がある（特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献1】特開2010-252949号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、ボタンの変化を、十分に演出に反映させられないという問題点があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、ボタンの変化を十分に演出に反映できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技者が操作する操作手段と、第1位置と、その第1位置とは異なる第2位置との間を動作可能とされる動作手段と、を備える遊技機であって、前記動作手段の動作態様を変化させ、操作に対する前記操作手段の反応の態様を切り替えるための切替手段を備え、前記動作手段は、前記操作手段と同期動作させるための同期動作手段と、前記操作手段と非同期で動作させるための非同期動作手段と、を備え、前記切替手段は、前記反応の態様の切替を、前記操作手段の非操作時に前記操作手段の配置が操作可能位置で維持された状態で実行可能に構成される。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、操作手段の反応の態様が、動作手段の動作態様の変化により切り替えられるので、操作手段の変化を十分に演出に反映できる。